

団体情報	
団体番号	25
団体名	献血推進サークルぐっぱ
所属人数（前年度）	15人

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。
		島根大学公認学内学生団体として、部員の学生生活の充実を図るとともに、島根県赤十字血液センターの献血協力団体として日本赤十字社が実施する血液事業（献血）の推進に関して協力し、血液事業全般の促進に寄与する。
活動報告	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 当部は献血推進活動を中心として、島根県赤十字血液センターと連携しながら献血事業の促進に取り組んでいる。主な活動として、献血会場での呼びかけや広報活動を実施し、献血への理解促進と協力者増加を目指している。また、活動の質向上を目的として献血や輸血医療に関する学習会・研修会へ参加し、知識の習得に努めている。血液センター職員との情報共有や意見交換を行い、献血推進方法の改善や活動内容の見直しを随時実施している。 限られた人数や時間の中でも効率的な活動を行うため、役割分担や事前共有を徹底している。隣県の学生献血推進団体と合同で活動や情報共有を行い、他地域の取り組みを参考にしながら活動内容の改善や献血推進の強化に努めている。継続的な連携により、より効果的な献血推進活動につなげている。また、中国四国地域の学生献血推進団体との合同活動や研修を通じて、地域ごとの課題や取り組みを共有し、より効果的な献血推進方法を学び活動へ反映している。 ②社会や地域貢献活動 献血推進活動を通じて、地域医療を支える血液事業に貢献している。学内外での献血の呼びかけに加え、企業主催の献血活動やスポーツイベント会場での献血推進活動にも参加している。 具体的には、企業における献血実施時の協力や、サッカー試合会場での献血推進活動に参加し、多様な年代や地域住民へ献血の重要性を発信している。これにより、普段献血に接する機会の少ない層へも献血への理理解促進を図り、地域全体の献血意識向上や安定した血液供給に寄与している。 また、隣県の学生推進団体との合同活動や情報共有を通じて、地域を超えた連携を行い、より効果的な献血推進活動へとつなげている。 ③その他アピールできること 当部では、島根県より任命された献血推進大使として献血の重要性を広く発信し、若年層を中心とした献血意識向上や献血協力者増加を目的に活動している。多様な場面で献血の重要性を発信し、地域医療を支える血液事業の推進に努めている。 また、県内外の学生献血推進団体との交流や合同活動を通じて、効果的な献血推進方法を学び、活動改善へ活かしている。これらの経験を通じて、企画力や発信力、外部団体との連携力を培っている。



Ⅱ. 活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。）

- ・ 島根県献血推進大使2名選出
- ・ 全国学生推進代表者会議に島根県代表として参加

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥14,000	
		入部(会)金	¥0	円／人（年額）
		部(会)費	¥0	円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥13,000	
		活動・イベント収入	¥37,800	模擬店収入
		寄付金	¥10,000	
		スポンサー収入		
		その他	¥10,000	松江城北自動車学校から
		収入合計	¥84,800	
	支出	備品等購入費		
		施設等利用料		
		大会等参加費		
		広報活動費	¥5,113	献血についてのポスター、 立て看板費
		交際費		
		交通費		
		その他	¥29,087	学際参加費、模擬店材料費等
		支出合計	¥34,200	
	差引収支		¥50,600	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	定例会や、物品の保管のため、課外施設共用棟の利用を継続したいです。
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。